

## 若手職員WGの提案実現に向けたプロジェクトの取組状況（中間報告）について

DX戦略本部事務局

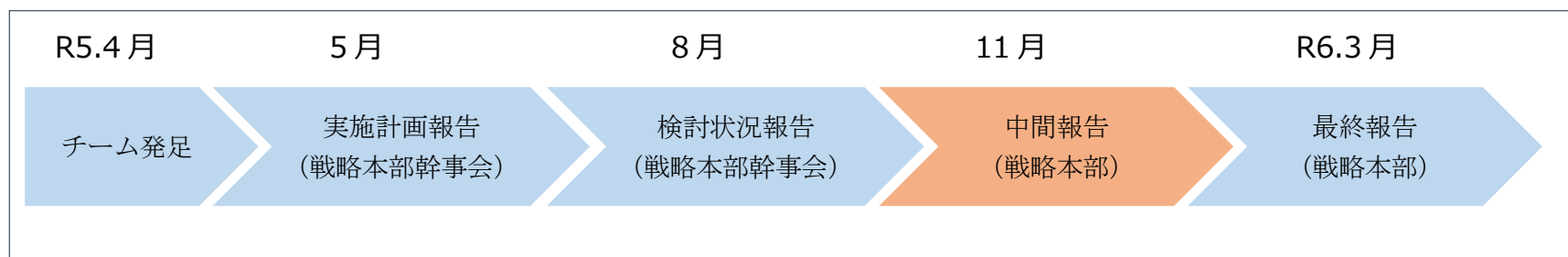
令和4年度に若手職員ワーキンググループから提案された内容の実現に向け、プロジェクトチーム5つを立ち上げ、検討を進めている。各チームにおける取組状況について報告する。

## プロジェクトチームの取組事項

プロジェクト	担当部局（幹事課）	報告資料
①自治体公式LINEを利用した情報発信の最適化	総務部（広報広聴課）	4-1
②職員提案制度の見直し	総務部（行政経営課）	4-2
③人材バンクの構築	総務部（人事課）	4-3
④デジタルワークプレイスの整備	企画振興部（デジタル政策推進課）	4-4
⑤オンラインを活用した起業・創業支援のあり方	産業労働部（商業貿易課）	4-5

## スケジュール

第4回本部会議で最終報告の予定



## ①「自治体公式LINEを利用した情報発信の最適化」プロジェクトチーム

## 1. 具体目標

- ◎公式LINE開設による情報発信の効率化
  - ・公式LINEの開設・統合
  - ・セグメント配信・プッシュ通知の実施

## 令和4年度WGからの提案

- （課題）公式ウェブサイト・SNSの乱立により、情報発信が効率的に行われていない
- （提案）①ターゲット毎に最適化された情報の発信（セグメント配信）  
 ②情報伝達の迅速化（スマホへのプッシュ通知）  
 ③窓口の集約・双方向コミュニケーションの実現

## 2. 進捗状況

## ◎検討結果

**令和6年度より自治体公式LINEを開設し、セグメント配信・プッシュ通知を導入する。**

- ・次の観点で必要性が認められるため、下記機能等を盛り込んだLINE開設に向け予算要求（令和5年12月補正・債務負担行為へ、LINE連携ツール予算を計上）
- ・利用者の多いLINEは、県民との情報共有のための有益なツールとなる
- ・防災・災害等の緊急時における情報伝達手段として、プッシュ配信機能は有用

## ◎検討事項

- ・リッチメニューの表示項目やプッシュ配信するコンテンツの精査
- ・LINEアカウント統合の必要性・可否
- ・登録者増加のためのインセンティブ

## ◎運用イメージ

## ユーザーの利便性に係る機能付加

## リッチメニュー

県政情報をシンプルなアイコンで表示し、トーク画面の下部に固定するメニュー

## セグメント配信

受信設定することで、ユーザーが希望する情報のみを配信

## 主要な防災関係システム等の情報を連携配信

## 連携配信

- ・Lアラート
- ・秋田県河川砂防情報システム
- ・その他連携が望ましいもの

★各システム等の更新に合わせて、登録した地域の情報をLINEで自動プッシュ配信

<LINE画面上>

地域の設定 ※最大3件	
秋田県秋田市	●
未設定	>
未設定	>

①地域を設定



気象警報 10月6日 21:18 発表	
<b>大雨警報が発表中</b>	
【発表時刻】 10月6日21時18分 気象庁発表	
秋田市に気象警報が発表されています。	
【秋田市】	
◆発表中の警報	大雨
◆発表中の注意報	雷、強風、波浪
対象地域 秋田県秋田市	

②設定地域の情報のみ届く

## 3. 今後の予定

令和6年1月	企画・設計
2月	業者選定・契約
3月～4月	開発
5月	運用開始

## ②「職員提案制度の見直し」プロジェクトチーム

## 1. 具体目標

- ◎職員提案制度への投票制・コメント機能の導入
- ◎職員提案の実現に向けた取組の促進



## 令和4年度WGからの提案

- (課題) 現行の職員提案制度は、提案に対して所管課が一方向的に回答する仕組みであり、建設的な議論ができていないほか、他職員の評価やマジョリティーの可視化ができておらず、重要な提案を見落としている可能性がある。
- (提案) 職員提案制度に投票制及びコメント機能を導入し、提案に対する賛同者の可視化、他職員からの助言による提案のブラッシュアップを図る。

## 2. 進捗状況

## ◎検討結果

**令和6年度より職員提案制度への投票制及びコメント機能を本格導入する。**

- ・既存のグループウェア（秋田県情報活用支援システム（desknet's NEO））のアンケート機能を活用
- ・各提案について職員投票（2週間）を実施し、その結果を基に、提案内容の実現に向けて提案者と担当課等による意見交換を実施

## ◎取組状況

令和5年度に実証実験を行い、効果や課題の分析を実施

（実証スケジュール）

令和5年7月～8月 提案募集

令和5年9月 職員投票

令和5年10月～ 提案者と担当課による意見交換（上位5提案を対象）

※意見交換の対象とならなかった提案についても、職員投票時に寄せられた提案へのコメントを提案者にフィードバックし、提案のブラッシュアップに生かしてもらう

## ◎実証により生じた課題と対応策

- ・運用方法の改善（提案募集、職員投票）
  - ①提案が多様多様であり、職員提案に向かないものもある
    - 本質的な業務改善が図られるよう、より具体的な募集テーマを設定
  - ②投票フォーム（desknet's NEO）の各提案の個票がバラバラで見にくい
    - 各提案の個票を1つにまとめ、PDFデータの視認性を向上
  - ③順位決定に当たり、提案の必要性・緊急性等を考慮すべき
    - より重要な提案が上位となるよう、投票方法・順位決定方法を改善

## 3. 今後の予定

令和5年12月～ 職員提案（第2回）  
提案募集、職員投票、意見交換  
～令和6年3月 令和6年度の職員提案制度の検討

	募集期間	提案総数	投票者数	総投票数	コメント数
R4	提案:5カ月 (投票:なし)	47件	なし	なし	なし
R4 実証	提案・投票:1カ月	53件	98名	774票	198件
R5 実証	提案:1カ月 投票:2週間	57件	494名	14,322票	1,768件

※R4実証はアイデアボックス実証実験を指す

順位	提案	賛成	反対	中立	コメント
第1位	冷暖房の稼働に関する提案	375	12	49	85件
第2位	1人1台PCの動作及び 仮想インターネットに関する提案	345	7	72	79件
第3位	消耗品の取得単価拡大	293	7	64	56件
第4位	入札契約課（室）の設置	295	18	72	66件
第5位	文書管理システムにおける 機能追加について	264	8	72	32件

### ③「人材バンクの構築」プロジェクトチーム

#### 1. 具体目標

- ◎ 人材（職員）情報の見える化
- ◎ 職員が現所属に関わらず能力やスキルを発揮することができる仕組みづくり



#### 令和 4 年度WGからの提案

- （課題）・人材活用の硬直化（庁内にどんな人材がいるのか不明）  
・庁内副業制度がない
- （提案）・職員情報の一部（過去を含む所属部署、実績、保有資格等）を公開し、職員に手伝ってもらいたい部署とマッチングする仕組みを構築

#### 2. 進捗状況

##### ◎ 検討結果

令和 6 年度から運用開始を予定しているタレントマネジメントシステムを活用し、  
“人材情報の見える化”と“所属と職員のマッチング”により、職員が持つ知識やスキルの活用を一層推進する。

##### ◎ 運用イメージ例

〔タレントマネジメントシステム〕 一定の人材情報の見える化を図るとともに、マッチングのプラットフォームとして活用  
〔所属〕 業務の遂行に当たってノウハウ等を知りたい場合などに、業務経験や専門的知識のある職員を検索・募集  
〔職員〕 所属の募集や職員の希望等に基づき、業務に参加・ノウハウ等を提供

##### ◎ サービスの取扱い

基本的には、現行の“部局横断プロジェクト”と同様の取扱い（週の勤務時間の20%の上限、WEB会議の活用等）

##### ◎ 検討事項

- ・ 細部の運用ルール等の策定

～ タレントマネジメントシステム ～

職員に関する人材情報を一元的に管理し、データ化（見える化）・分析することで、人事評価や人事戦略（人材育成、人材配置等）に活用するシステム。

#### 3. 今後の予定

- ① 令和 5 年度はタレントマネジメントシステムの構築期間であるため、細部の運用ルール等の策定について引き続き作業を進める。
- ② タレントマネジメントシステムの運用開始（令和6年4月予定）後、順次、本プロジェクトについても準備を進める（令和6年度下半期の運用開始を予定）。

## ④「デジタルワークプレイスの整備」プロジェクトチーム

## 1. 具体目標

## ◎ デジタルワークプレイスの整備

- ・ コミュニケーションツールの充実
- ・ 私用スマートフォン等のBYOD対応などを通じたモバイルワーク環境の整備



## 令和4年度WGからの提案

- (課題)
- ・ 職場外でのメールやスケジュールの確認ができない。
  - ・ テレワークやWeb会議の手続きが煩雑で時間がかかる。
  - ・ 会議の資料を検討・修正する際に、紙での確認とPCでの編集を繰り返している。
- (提案)
- ・ デジタルワークプレイスを整備することで、いつでも・どこでも・誰とでも快適に仕事ができる環境を実現する。

## 2. 進捗状況

## ◎ 検討結果

**デジタルワークプレイスの実現に向けて下記の整備を行う。**

- ・ 庁内のモバイルワーク環境の整備
- ・ リモートワーク環境の充実
- ・ **コラボレーション機能の強化**

## ◎ 整備内容

- ・ モバイルPCへの変更、行政ネットワーク接続の無線LAN化
- ・ BYOD対応
- ・ 共同編集機能の導入
- ・ 既存電話設備との連携・クラウド電話への移行

## ◎ 検討事項

## 各種費用対効果の検証

- ・ コラボレーションツールのライセンス料等のコスト
- ・ 電話設備等のクラウド電話の環境整備にかかるコスト

## &lt;コラボレーションツールとは&gt;

：複数の人が共同でプロジェクトやタスクを効果的に管理し、コミュニケーションを円滑に行うためのソフトウェアやアプリケーション。  
(代表例) Microsoft Teams、Google Workspace 等

## 主な機能

：チャットツール、オンラインドキュメント共有プラットフォーム、ビデオ会議ツール、プロジェクト管理ソフトウェアなど

## &lt;目指す姿&gt;

コラボレーションツールの導入により、「効率的なタスク管理」「リアルタイムのコミュニケーション」「データの一元化」「プロジェクトの進捗管理」を最適化することで、**リモートワークやフリーアドレスによる分散型チームが増える現代のビジネス環境に対応**する

## 3. 今後の予定

◎ 令和6年度に一人1台パソコンをモバイルPCに更新するとともに、コラボレーションツールの実証実験を実施し、令和7年度導入に向けた効果検証を行う。

R5.10	予算要求
R6.4~8	一人1台パソコン更新
R6年度	コラボレーションツール等に関する実証実験実施・予算要求
R7年度	実証試験に基づいたコラボレーションツール導入

## ⑤「オンラインを活用した起業・創業支援のあり方」プロジェクトチーム

## 1. 具体目標

- ① 支援施策を一覧化できるデータベースの構築・公開
- ② ロールモデルとなる起業家の情報をオンライン上で発信
- ③ オンラインコミュニティの構築・活性化



## 令和4年度WGからの提案

- （課題）・起業の支援制度が一覧化されておらず、利用できる制度がわかりにくい  
 ・ロールモデルとなる先輩起業家が身近におらず、情報が不足している  
 ・行政や仲間同士のネットワークを築く手段が足りない
- （提案）・オンライン上で起業情報の発信や起業者のネットワーク化を進め、若年層の起業を促進する

## 2. 進捗状況

◎ 方針

**オンライン上で先輩起業家のノウハウや県内自治体・団体の支援制度を検索できるようにするとともに、関係者間のネットワークを強化する**

	① 支援施策を一覧化できるデータベースの構築・公開	② ロールモデルとなる起業家の情報をオンライン上で発信	③ オンラインコミュニティの構築・活性化
方針	構築中の起業・スタートアップポータルサイト「A-STA」において、県内支援機関の支援施策を集約・整理する。	ポータルサイト上で多様な起業家事例を紹介する。	民間のオンラインコミュニティと県施策の連携を強化し、活性化を図る。
運用	ポータルサイトへの支援制度の掲載は、起業までの各フェーズでの導線・検索性を重視した構成とする。また、併せて先輩起業家の制度活用実例を紹介する。	ポータルサイトへ県内起業家10名のインタビュー記事を掲載する（12月以降順次掲載）。	民間企業が運営している起業関連オンラインコミュニティに参加し、コミュニティ内での情報発信等に取り組む。
課題	特にスタートアップ支援については、県内に加え、県外の支援プログラムの活用等も促していく必要があるため、今後、情報集約の手法を検討していく必要がある。	起業・スタートアップの認知度向上のため、PR機会の提供やブランディングのサポート、マスコミとの連携等を検討していく必要がある。	効果的なネットワーク形成には、オンラインとオフラインを組み合わせ、両輪で実施していく必要がある。

## 3. 今後の予定

R5.11下旬～ ポータルサイトの公開・運用  
 起業家インタビュー記事の掲載